



ねんだい しょうわ ねん ねん はじ とばた うえ ほう どうかいわん てまえ げんざい くやくしょ  
1950年代(昭和25年~35年)初めの戸畑のまち(上の方が洞海湾、手前は現在の区役所ふきんです)

## はじめに

みなさんは、<sup>とばた</sup>戸畑の<sup>むかし</sup>まちの<sup>ようす</sup>昔の<sup>し</sup>様子を知っていますか？

この本は、<sup>ほん</sup>戸畑の<sup>とばた</sup>まちの<sup>しやしん</sup>うつりかわりを<sup>しょうかい</sup>写真などで紹介しています。みなさんが<sup>ひ</sup>日ごろ<sup>ある</sup>歩いている<sup>みち</sup>道、<sup>み</sup>見なれた<sup>ふうけい</sup>まちの<sup>むかし</sup>風景が、昔は<sup>ようす</sup>どんな<sup>わ</sup>様子<sup>おも</sup>だったのかが<sup>おも</sup>分かります。

そして、<sup>とばた</sup>戸畑の<sup>むかし</sup>昔へ<sup>あと</sup>タイムスリップした後は、いっしょに、<sup>とばた</sup>これからの<sup>かんが</sup>戸畑の<sup>な</sup>まちづくりについて<sup>すこ</sup>考えていきましょう。

この本に書いてあることの中には、<sup>ほん</sup>少し<sup>か</sup>むずかしい<sup>なか</sup>と思う<sup>すこ</sup>部分もある<sup>おも</sup>かもしれません。今は<sup>いま</sup>分<sup>わ</sup>からなくても、<sup>おお</sup>大きくなるにつれて、<sup>わ</sup>きっと<sup>おも</sup>分かる<sup>ほん</sup>ようになると<sup>て</sup>思います。ぜひ、この本を<sup>つか</sup>手もとにおいで<sup>つか</sup>使いつづけてください。